

異才 ファジル・サイが放つ渾身の力作

「全篇ナーズム・ヒクメットの詩 日本語訳による世界初演」

——「死んだ女の子」「ヒロシマ」の詩をヒロシマの国で——

私が監獄に在るとしよう

50歳間近で

鉄の扉が開くまでに

まだ18年が残されて

それでも私は外の世界と共に

人や生き物や闘いや風と共に生きる

そう どこに居ようとも

決して死ぬことなどないかのように 生きるべきだ

私は生きると言えるために



提供:ナーズム・ヒクメット文化芸術財団

ヒクメット 生誕 120 周年記念

ファジル・サイ

ナーズム オラトリオ

Nazim Hikmet

2022年9月16日(金)

[開演] 18:45 [開場] 18:00

日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

(名古屋市民会館大ホール 地下鉄「金山駅」下車 北へ徒歩5分)

[全席指定] S席:5,000円 A席:4,000円 B席:3,000円

指揮:高橋直史(前エルツゲビルゲ劇場総監督)

ピアノ:中岡秀彦 詩朗読:佐山陽規

メゾソプラノ:李政美 バリトン:新実真琴 児童独唱:村瀬季愛

オーケストラ:名古屋フィルハーモニー交響楽団

合唱:「ナーズム・オラトリオ」合唱団(合唱指揮:高橋昭弘)

演出:齋藤敏明 舞台監督:稲垣清行

主催:「ナーズム・オラトリオ」実行委員会 “反核・日本の音楽家たち”名古屋

後援:名古屋市教育委員会 ナーズム・ヒクメット文化芸術財団

お問合せ:公演事務局 (090)4117-4155

マネージメント: @Musc ミュースクリエート (052)910-6700



ファジル・サイ ナーズム・ヒクメット オラトリオ



提供:ナーズム・ヒクメット文化芸術財団

ナレーター、メゾソプラノ、バリトン、子ども、
ピアノ、混声合唱、
およびオーケストラのための
全篇ナーズム・ヒクメットの詩による

トルコ共和国 文化省委嘱作品

トルコ語和訳：イナン・オネル
歌詞・作詩：江崎 栄二、高橋 昭弘

サミュエル・バーバー
弦楽のためのアダージョ

ファジル・サイ

1970年アンカラに生まれる。15歳でドイツ人ピアニスト・レヴァインに才能を認められ、ロベルト・シューマン音楽院に入学、彼の指導の下でピアノの研鑽を積む。1995年ヤング・コンサート・アーティスト国際オーディションで優勝、翌年クルト・マズア指揮によりニューヨーク・フィルと共演。ピアニストとして世界各地で演奏活動を展開。2008年東京の5日間にわたる演奏会は大きな話題を集める。彼のピアノ作品「トルコ行進曲・ジャズ」「ブラック・アース」は世界中で愛好され演奏されている。

ナーズム・ヒクメット

トルコが世界に誇る詩人、また社会変革、平和運動に生涯を捧げた活動家でもある。1902年セラニク(現ギリシャ領テッサロニキ)に生まれ、1963年亡命先のモスクワで客死。日本では歌曲「死んだ女の子」の原詩者として知られる。この詩と併せ、ビキニ環礁水爆実験で被爆した第五福竜丸の漁師の死を悼む「日本の漁師」、「雲が人間を殺さないように」は、原水爆に関する3部作とされる。ヒューマニズムにあふれ平和を愛したヒクメットの作品は、世界中で翻訳・愛読されている。

サイがヒクメットの詩を通して現代の世界に問いかけるメッセージ

この作品は、トルコ政府文化大臣からの委嘱により作曲され、2001年アンカラで初演された。作曲にあたりサイが選んだテキストは、トルコの偉大な詩人ナーズム・ヒクメットの詩であった。ヒクメットは反政府的著作活動などによる12年間の不当な獄中生活の後、引き続き弾圧から逃れソビエトに亡命したためトルコの市民権を剥奪されており、当時もまだ回復されていなかった。そうした中、サイが敢えてヒクメットの詩を選んだのは、彼が幼少時代からヒクメットの詩に親しんできたからばかりでなく、彼自身のトルコ政治に対する批判の表明とも言えようか。

初演は熱狂的な賞賛で迎えられた。成功の最大の要因は、サイの独創的・現代的且つ民族的伝統を生かした技法にあるのだが、

底流として発禁状態の中でもヒクメットの詩を愛誦し続けたトルコ国民の心情を考慮すべきである。

サイは作曲にあたり、ヒクメット20代から50代までの詩16篇を年齢順に配して、「青年期」「獄中にて」「人間について」「故郷について」の区分に構成した。中核を成す「人間について」では、ヒロシマへの原爆投下、ビキニ環礁水爆実験を告発する。

この作品では詩の朗読が大きな比重を占めており、その朗読が華麗で変幻自在なピアノと密接に絡みながら進行するのだが、私達はこうした作品の特色を生かすため、トルコ語原詩を日本語に翻訳し、全篇日本語による上演を実現した。本上演は日本初演であると同時に、日本語版による世界初演でもある。



撮影:老川良一

〈指揮〉高橋 直史

愛知県立旭丘高等学校卒業、東京藝術大学指揮科卒業、同大学大学院修了。ミュンヘン音楽大学大学院指揮科修了。2006年よりドイツ・エルツゲビルゲ歌劇場音楽総監督及び同交響楽団首席指揮者。2021年より金城学院大学教授。



〈ピアノ〉中岡 彦秀

名古屋市立菊里高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。リスト音楽院サマーセミナーに参加。ソロリサイタル、ピアノデュオリサイタルの他、多分野で演奏活動を行う。名古屋市市民芸術祭賞、名古屋市市民芸術祭審査員特別賞など受賞多数。



〈詩朗読〉佐山 陽規

1972年よりオペラ小劇場こんにやく座で13年間活動。その後ミュージカルの世界へ、「レ・ミゼラブル」「ピーター・パン」「太平洋序曲」などに出演。ディズニーマニエの吹き替え等も務め、退座後のこんにやく座オペラにも度々出演し現在は「森は生きている」に出演中。



〈メゾソプラノ〉李 政美 (LEE JEONGMI)

国立音大在学中から朝鮮民謡、フォークソング、フォルクローレなどを歌い始める。現在はオリジナル曲を中心にジャンルを超えた幅広い活動を展開している。



〈バリトン〉新実 真琴

東京芸術大学卒業、同大学院修了。'89より名古屋を中心に演奏活動、28回のリサイタル開催。2017「戦争を拒否せよ!」、2019「反戦平和・海・沖繩」(ソングリサイタル)、他。



〈児童独唱〉村瀬 季愛

名古屋少年少女合唱団所属、小学6年生(2021年現在)

Muse ミュースクリエート (052)910-6700

チケットお取り扱い

・名古屋市文化振興事業団チケットガイド (052)249-9387 ・愛知芸術文化センタープレイガイド (052)972-0430
・チケットぴあ (0570)02-9999 Pコード:213-969 ・公演事務局 (090)4117-4155

・未就学児童はご入場できません。・車椅子席ご希望の方は公演事務局にお申し出ください。・託児室をご用意いたしますので8月16日までに公演事務局にお申し込み下さい(無料)